



ケータイシャシンカン①

その15「浜田島」

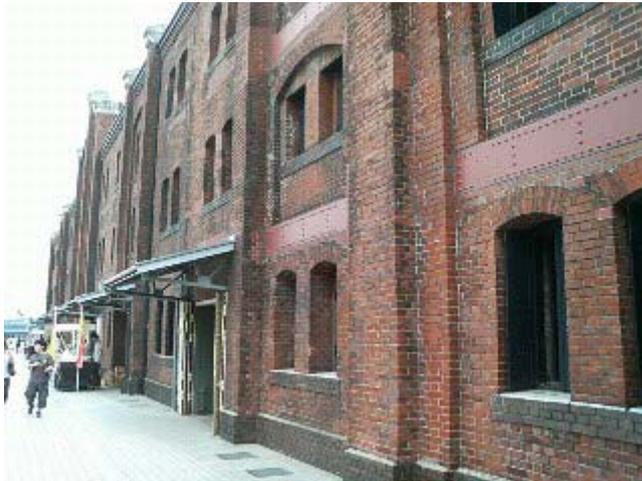
7月3日から13日間、横浜の赤煉瓦倉庫で行われた「クロックの展覧会」。グラフィックデザイナーで写真家の田島照久さんが撮りためてきた浜省の写真展。

浜田さんの島の名前にちゃんと自分の名前も入れてあってなかなかよいネーミング。

テーマに分かれて部屋が作られていてそのどの部屋にも浜省がいた。壁紙にもなっていて、その大きさには驚いた。

油絵や使用されているギターが展示されている部屋を通り、一番広い部屋にいくと左右の壁いっぱいに映像が流れていた。

ここにならずっといられると思ったのは来ている人達も同じ思いのようで、しゃがみこんだり柱に寄りかかったりしてじっくりとみている人が多かった。



最後の部屋には浜省直筆の絵コンテや田島さんに宛てたメッセージなどがガラステーブルの中に。

字はともかく、思いのほかお上手な絵でした。



この先も条件が合う会場が見つければ開かれるとのこと。そのときのために再考してほしい。写真やポスターの下の説明文がみんな英語。私にとっては、ちっとも説明になっていない。浜田さん！ここはやはり日本語でお願いしたい。



赤煉瓦倉庫の隣に横浜博覧会があった。

ワールドポーターズからのぞいたら

ラ・マシンの気持ち悪い姿が見えた。

六本木ヒルズにしろ、なぜこの生き物を使う?! 怖いじゃないかっ

